

京北地域小中一貫教育校創設に係る取組状況

1 京北地域小中一貫教育校検討協議会

平成28年6月17日に第1回会議を開催し、平成29年9月29日まで計7回開催。主な検討状況は次のとおり。

- ・専門部会（施設整備，通学安全）の設置及び専門部会の検討内容の確認
- ・施設整備の基本計画の策定，新校舎設計に係る検討
- ・検討内容の周知方法，傍聴規定の設定等
- ・「4小中学校PTA会長・3保育所保護者会長会」及び「4小中学校PTA・3保育所保護者代表者会」の発足，検討内容の確認

2 専門部会

(1) 施設整備検討部会

検討協議会メンバーの他，京北地域の3保育所保護者会長や4小中学校PTA本部役員等も参画。平成28年9月1日から12月14日まで計4回開催。新たな小中一貫教育校の「施設整備の基本方針」をまとめた。

(2) 通学安全検討部会

京北6自治会長，4小中学校PTA代表（前・現会長）・学校長並びに3保育所保護者会長で構成。平成28年11月21日に第1回会議を開催し，平成29年9月29日までに計4回開催。

バス通学において走行する経路（道路）を「現在の『ふるさとバス』が走行している道路とすること」を基本とし，乗車対象範囲や運行方法について検討を進めている。

3 4小中学校PTA・3保育所保護者代表者会

平成29年4月26日に「4小中学校PTA会長・3保育所保護者会長会」として第1回会議を開催したが，参画頂くメンバーを拡大（各校・保育所から会長ほか役員が参加）するというご意見を踏まえ，5月25日から「4小中学校PTA・3保育所保護者代表者会」として，通学服（標準服）の在り方や給食の実施方法について協議。10月16日までに計6回開催（第1回「会長会」含む）。

給食の実施方法については，「全学年で自校調理方式（全員給食）」，通学服（標準服）の着用学年については，「セカンドステージ（5年生）から着用」することを方向性として確認。現在，新通学服の選定作業を行っており，11月9日から22日にかけて，全保護者，小学校5・6年生及び中学生を対象に実施するアンケート結果を踏まえて，新通学服（標準服）を選定する予定。

資料②

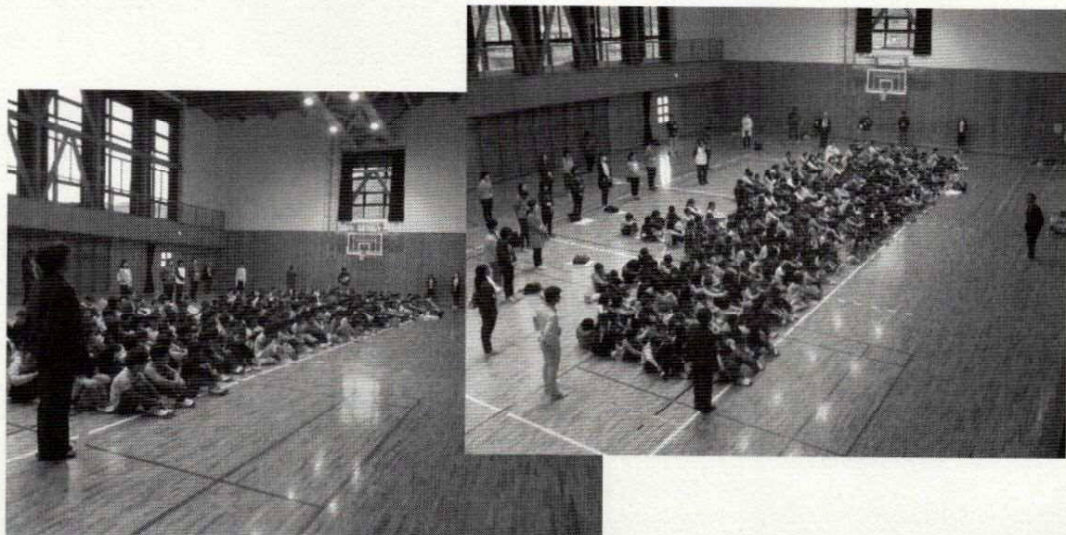
平成29年度 合同学習実施状況

京北の子ども達の
笑顔がいっぱい

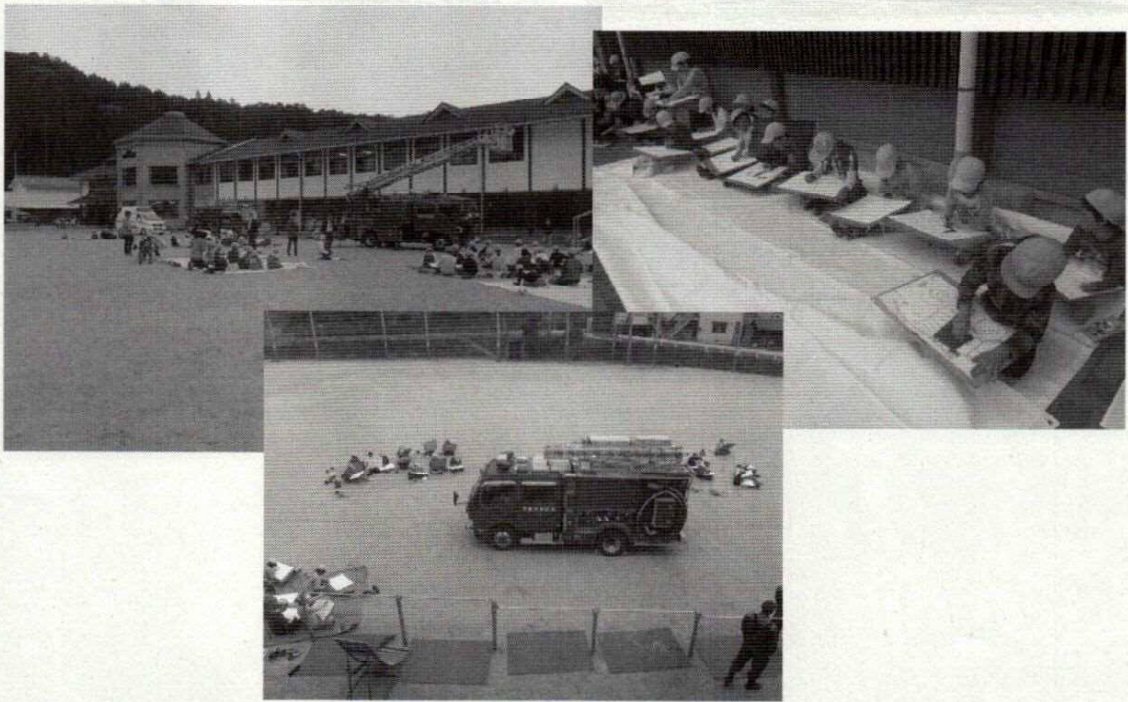
H29 1～

5月1日（月）：京北第一小

三小学校の全学年集合



1・2・5・6年 消防の図画



3年 敬老ポスター 4年 人権ポスター



休憩時間 . . .



子ども達の声

<消防の図画>

・ 3校合同学習で、1・2時間目にはしご車をかきました。はしご車は、初めて見てかいてみると、難しかったけど、楽しくかけたのでよかったです。

20分休みでは、第二の人と野球をして楽しくできたのでよかったです。次に、3・4時間目に修学旅行の班活動をしました。係のことを決められてよかったです。楽しい一日でした。

・ 二小と三小のみんなと、「こおりおに」をして、また一緒にしたいと思いました。

〈敬老ポスター・人権ポスター〉

・図工では、友だちの絵を見て、上手だしきれいに色がぬれているなど思いました。ドッジボールもいろんな遊びをして楽しかったです。また一緒に遊びたいです。

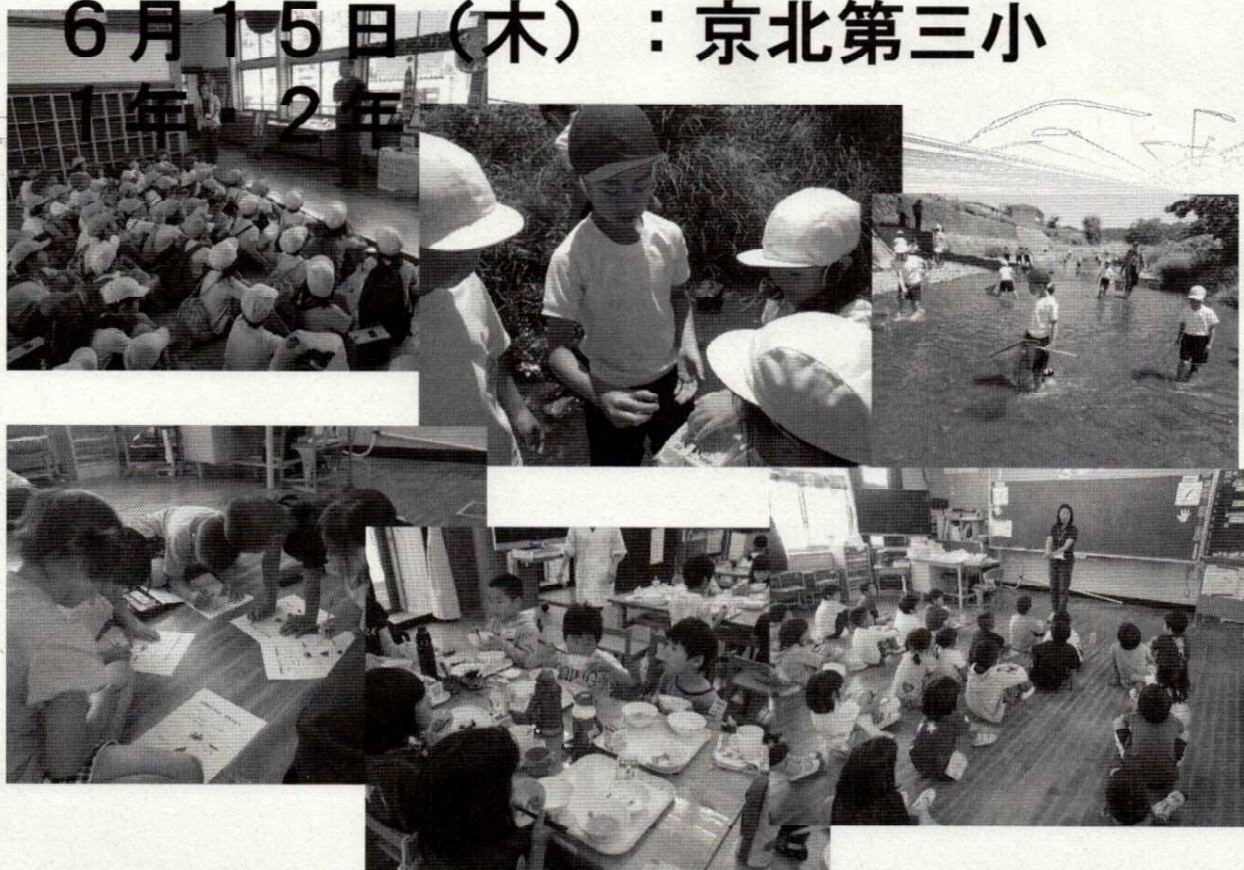
・図工で、みんなが上手だったのでびっくりしました。それを見て私もがんばろうと思いました。

・昨日に3校合同学習があって最初は気まずかったけど、あとからリラックスして楽しくできていたのでよかったと思いました。それから、二小、三小の人たちも人権ポスターも伝えたいことをうまく表現できていたので、とてもすごいと思いました。

みんなで「くまがきた！」や「大嵐（ゲーム）」をしたり、円になって好きな食べ物をいいあたりしました。今までで一番楽しく遊ぶことができたのですごくうれしかったです。また3校合同学習をしてみたいと思いました。それにみんなで遊びたいと思いました。

6月15日（木）：京北第三小

1年・2年



6月15日（木）：京北第一小
4年・6年



子ども達の声

<1・2年生>

・いつもとちがってお友だちがふえてうれしかったです。川たんけんをしているときにうれしかったです。〇〇ちゃんと、お友だちになりました。二小の2年生となかよくできてうれしかったです。三小の2年生にも会えておもしろかったです。

・二小と三小のみんなで給食を食べたのが楽しかったです。魚はつれなかったけど、二小の人とか三小の人とかで一緒に川にいったのがすごく楽しかったです。最後に、「だるまさんがころんだ」をみんなでしたのがよかったです。

・ちがう学校の人とランチルームでなかよくなれました。

<4・6年生>

・今日の3校合同学習で一番心に残ったのは音楽です。なぜかという、いつもは17人で合奏をしているので、倍の人数できれいにまとまった合奏ができてとても楽しかったです。

情報モラル学習では、SNSを使う時のルールを家の人と決めて、それを友だちに伝えておくトラブルになりにくいことが分かりました。いろいろなことを班のみんなと考えられたので、次の3校合同学習では、ほかの人と班になってみたいと思います。

・2回目の合同学習では、友だちの名前もしっかり覚えていたので、しっかり相手のことも考えて行動できたし、給食もみんな楽しく食べられました。みさきの家もあるのでしっかり協力して頑張ろうと思いました。めあての「みんなでなかよく協力しよう!!」もしっかり守れたのでよかったです。

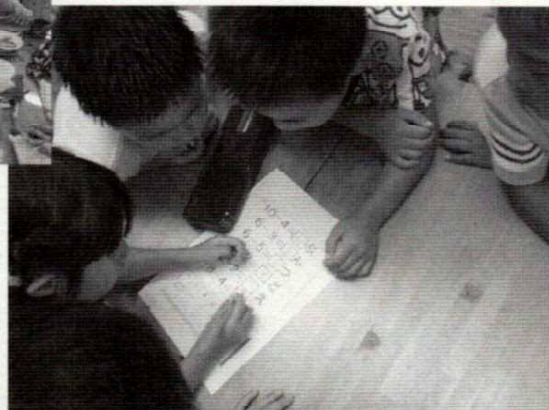
6月26日（月）：京北山国の家 5年



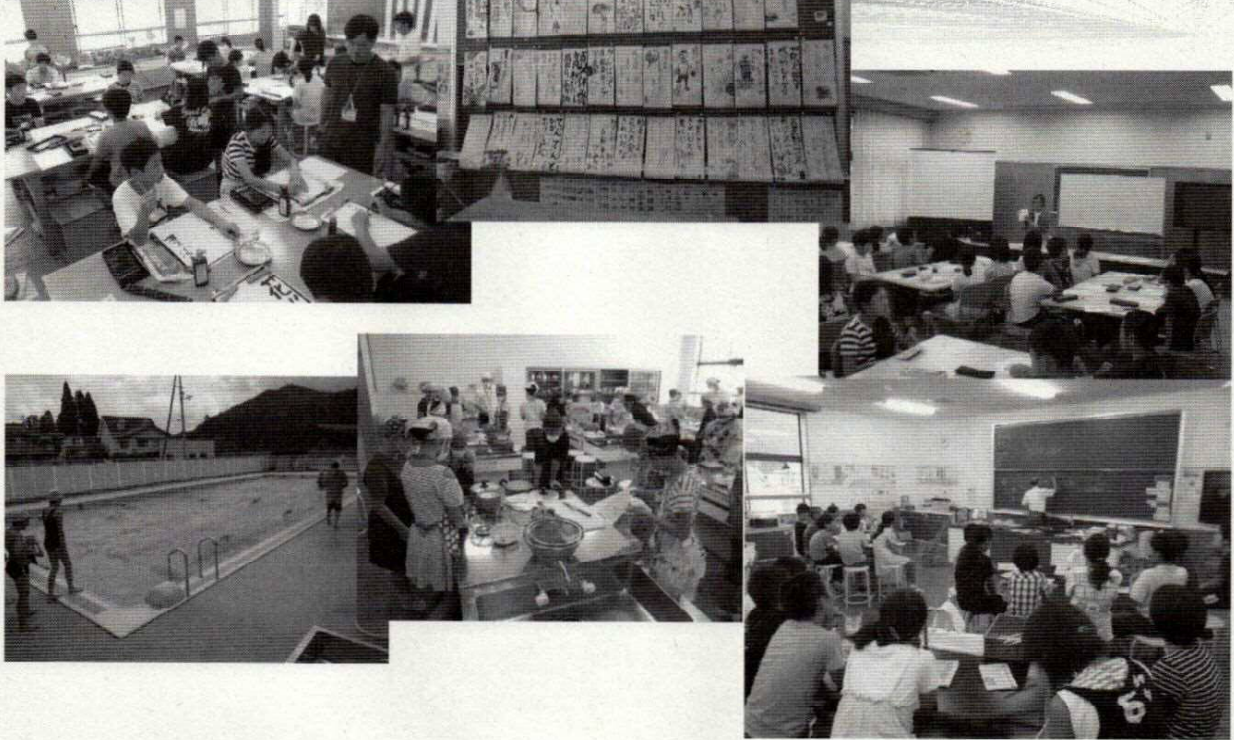
7月6日（木）：周山中
5年・6年・中学生
スクエアドストレイト方式による
自転車安全教室



7月19日（水）：京北第二小
1年・2年・3年



7月19日（水）：京北第一小
5年・6年



子ども達の声

<1・2・3年生>

・一小，二小，三小のお友だちと遊んだり勉強したり，いろいろな遊びができてよかったです。もっともっと遊びたかったです。

<4年生>

・今日，3校合同学習をして，1・2・3時間目は，俳句を考えたり，墨絵をしたりしました。私は，みんなで協力して俳句が考えられて，墨絵も楽しくできてよかったです。4時間目は，英語をしました。班のみんなの得意なこと，できることが分かって楽しい授業でした。みんなで給食も食べました。みんなでわいわい楽しい一日になりました。

<5年生>

・今日の第一小と第二小と第三小と3校の小学校と合同学習をして、みんなで楽しく水泳学習をしたり、家庭科の調理実習をしたり、植物の葉の勉強をしたりしました。ぼくは、特に調理実習をしたのが心に残りました。食べてみると、どれもすごくおいしかったし、食べやすかったです。また、合同学習がしたいです。

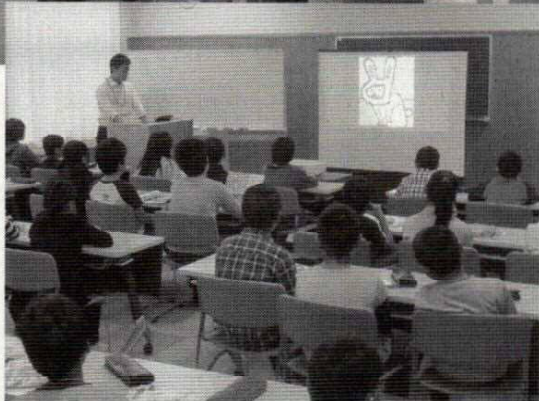
<6年生>

・ぼくは、3校合同学習で心に残ったのは薬物乱用教室です。ぼくは、麻薬などを飲んだら死に至ることが分かったので、「ダメ、ゼッタイ」という合言葉を守りたいです。今日の3校合同学習で二小や三小の人と仲よくなれたのでよかったです。楽しかったので、また3校合同学習をしたいです。

10月13日（金）社会見学 ：京都市動物園 1年・2年

- ・二小の〇〇君となかよくなりました。
- ・動物園のふれあい体験でテンジクネズミとうさぎをさわられて楽しかったです。
- ・みんなと動物園に行けてよかったです。

10月20日（金）：京北第一小 5年・6年



10月20日（金）：周山中 京北地域4小中学校の児童・生徒全員



子ども達の声・・教科学習

<1・2年生>

みんなで「世界が一つになるまで」を歌うのが楽しかった。

中学生の歌がうまかった。

中学生になったら、あんなふうに歌いたい。

とてもきれいな歌声だった。

< 3・4年 >

・はじめて、周山中学校の音楽祭にあって中学生の人の声がきれいでびっくりしました。わたしも中学生さんみたいな声が出たらいいなと思いました。

・最後にみんなで、「世界が一つになるまで」を歌いました。気持ちよく歌えてよかったです。また、歌いたいなと思いました。

・中学生の歌声は私たちとはちがいました。私も中学生に負けないようにがんばります。

・中学生と一緒に歌うと一体感が出ていたのがすごかったです。

< 5年生 >

・算数の勉強の時は、いろいろな人の意見がきけたり、じっさいにやってみたりと楽しかったです。また、周山中学校では私たちの発表もうまくいってよかったです。中学生の発表がとても迫力があって、見ていてとてもすごいな、と思いました。

・三校合同の算数でみんなの意見にも参考になったし、みんなで協力して答えにいったのでよかったです。音楽祭ではとてもきれいに歌えたのでよかったです。特に中学生が全員で歌を歌ったところがびっくりするほどとってもきれいだった。

<6年生>

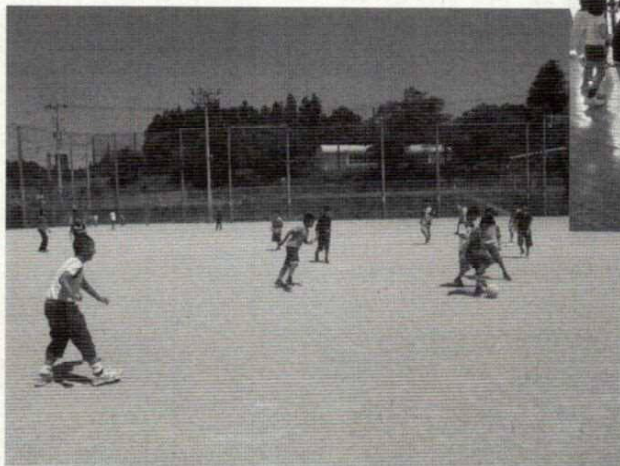
・3時間目の体育では大文字駅伝予選に向けての練習をした。ほかの二校の人のペースをみて、どんなものかを知ることができた。それを生かしたい。音楽祭では、「世界が一つになるまで」は中学生が実際に楽器で演奏してくれて楽しくやり切ることができた。また、交流したい。

・国語では、漢字の学習をして班で話し合いながら考えることができた。理科は地層を観察して、気づいたことなどを班で話し合った。音楽祭では、中学生の歌を聞いて、とてもきれいな声で歌っていたのすごいなと思った。「この星に生まれて」は少し緊張したけれど、練習の時より大きな声で歌えたのでよかった。

5・6年合同合唱 この星に生まれて

京北地域児童・生徒全員合唱
世界がひとつになるまで

ありがとうございました



通学安全検討部会について

1 基本的な考え方

- (1) 学校統合により遠距離となる児童について、教育活動に支障のないよう、公費負担により登下校に必要なバスを確保する。
- (2) バス通学において走行する経路は、冬季の積雪、バスの転回、通学所要時間などを考慮し、1年間を通じて子どもたちが安全かつ安定して通学できるよう、現在、ふるさとバスが走行している道路とすることを基本とする。

2 開催日と協議内容

	開催日	協議内容
第1回	平成28年 11月21日	○基本的な考え方、通学の現状、京北地域公共交通の現状・取組・課題の説明 ○質疑、意見交換
第2回	平成29年 3月6日	○「通学にあたって、バスを利用する地域」をテーマに、3グループに分かれて協議
第3回	平成29年 6月28日	○路線バスとスクールバスの説明 ○「乗車範囲と通学バスの運行方法について」をテーマに、3グループに分かれて協議
第4回	平成29年 9月29日	○通学バスの運行方法案の説明 ○「通学バスの運行方法について」をテーマに、全体で協議

3 主な協議経過

(1) 運行時間・時刻について

	意見	協議結果・回答
全体	○小中学校で下校時間が異なる際のバスの運行はどうなるのか。	○教育課程や時間割と連動したバスの確保ができるよう検討していく。
	○土日の登校日や部活動、緊急時の対応はどうなるのか。	○子どもたちの活動や安全に支障がないよう、可能なかぎり柔軟な対応をしていく。
二小	○黒田地区の子どもの乗車時間が長くなることへの対応は。	○小塩地区を回らないスクールバスを運行することにより、時間の短縮が可能となる(第4回で提案)。

(2) 運行経路・乗車範囲について

	意見	協議結果・回答
全体	○自転車通学の対象範囲や学年はどうなるのか。	○現在の通学方法を基本とする中で、対象範囲や学年(ステージ)については、改めて今後検討する。

一 小	○宇津線は、朝便の一本化を実施したが、特に問題ない。	
	○細野線は、スクールバスと一般の混乗だが、このままでよい。	
	○城山地区は冬場の徒歩通学は危険。バス通学も考えられる。	○地区ごとに通学方法を定めることも一つの方法である。
二 小	○中江地区にバスを入れてほしい。	○現地調査の結果や諸条件から、安全で安定した運行が難しい。
	○下地区児童の通学方法はどうか。	○歩道の整備は難しい。迂回路の歩行は外灯の整備が必要。殿橋バス停まで歩きバス通学することも一つの方法である。
三 小	○全員バス通学がよい。	
	○弓削地区の旧道にバスを入れてほしい。	○現地調査の結果や諸条件から、安全で安定した運行が難しい。

(3) 運行方法について

	意 見	協議結果・回答
全体	○通学バスの形態は路線バスかスクールバスか。	○第3回の協議で、スクールバスと路線バスには双方に利点と課題があることを確認した。 ○その上で、教育委員会と関係機関等で協議を行い、 <u>運行案を第4回に提案し、協議した。</u> ⇒8～10ページを参照
一 小	○基本的に現状でよい。	
二 小	○スクールバスの方がよい。	
三 小	○将来的なことを考えれば、路線バスの利用がよい。	

(4) その他

○バスの運転手の確保が大きな課題である。

4 確認事項

(1) 通学バスの乗車範囲については、

○京北第一小は、現行の乗車範囲に加えて、新たな乗車範囲についても検討する。

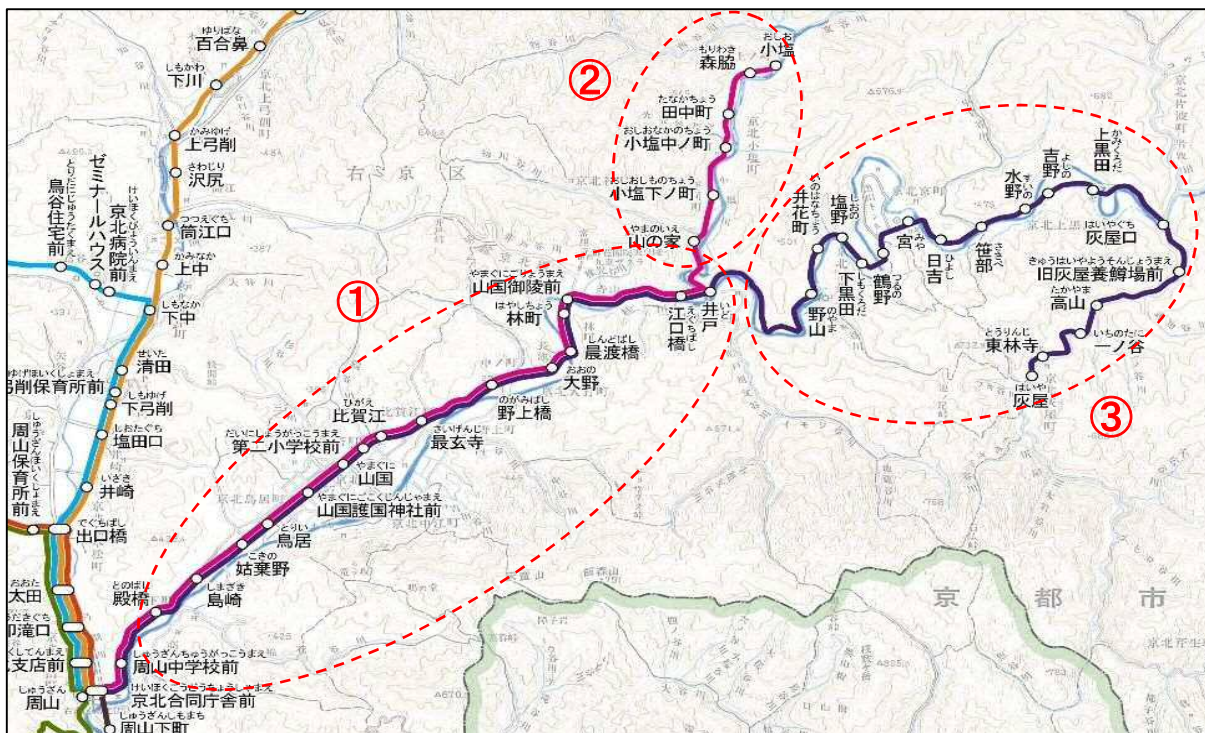
○京北第二小は、集団登校で最寄りのバス停まで歩き、バスで通学することが、子どもたちの安全を考えれば一番良い。

○京北第三小は、全員バス通学とする。

○周山中は、概ね現行の乗車範囲を基本とする。

(2) 通学バスの運行方法については、スクールバスと路線バスの双方を利用する案が最も妥当であると考えられる。

現状と開校時の通学時間について【京北第二小学校区】



① 山国地区

下地区から通学する場合の通学時間の比較

	現状（平成 28 年度）	開校時（平成 32 年度）
徒歩	・自宅～京北第二小（約 3km）：50 分	・自宅～バス停：15 分
バス	※	・殿橋～周山中学校前：1 分

※冬季のみ路線バスを利用：5 分

② 小塩地区

小塩下ノ町（バス停）周辺から通学する場合の通学時間の比較

	現状（平成 28 年度）	開校時（平成 32 年度）
徒歩	・自宅～バス停：5 分	・自宅～バス停：5 分
バス	・小塩下ノ町～第二小学校前※：12 分	・小塩下ノ町～周山中学校前：18 分

※普段は路線バス。冬季のみスクールバスを利用

③ 黒田・灰屋地区

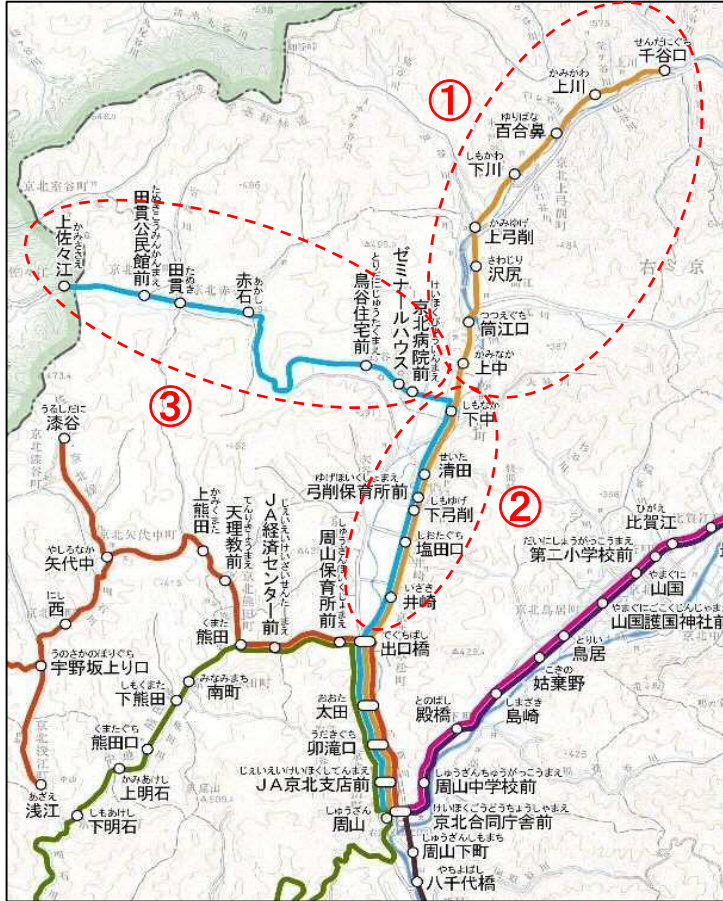
灰屋口（バス停）周辺から通学する場合の通学時間の比較

	現状（平成 28 年度）	開校時（平成 32 年度）
徒歩	・自宅～バス停：5 分	・自宅～バス停：5 分
バス	・灰屋口～第二小学校前※：22 分	・灰屋口～周山中学校前：28 分

※スクールバスを利用

※バスの乗車時間は、ふるさとバスの時刻表から算出しています。

現状と開校時の通学時間について【京北第三小学校区】



① 上弓削地区（田貫線以北）

下川（バス停）周辺から通学する場合の通学時間の比較

	現状（平成 28 年度）	開校時（平成 32 年度）
徒歩	・自宅～京北第三小（約 2.7km）： <u>45 分</u>	・自宅～バス停： <u>5 分</u>
バス	—	・下川～京北合同庁舎前： 14 分

② 下弓削地区（田貫線以南）

塩田地区から通学する場合の通学時間の比較

	現状（平成 28 年度）	開校時（平成 32 年度）
徒歩	・自宅～京北第三小（約 3.0km）： <u>50 分</u>	・自宅～バス停（約 600m）： <u>15 分</u>
バス	—	・塩田口～京北合同庁舎前： 6 分

（冬季のみ塩田口から上中まで路線バスで通学：4分）

塩田地区の南側の井崎地区の児童も同様の通学状況であるが、自宅からバス停（井崎）までの距離はやや近い。

③ 田貫地区

田貫公民館前（バス停）周辺から通学する場合の通学時間の比較

	現状（平成 28 年度）	開校時（平成 32 年度）
徒歩	・自宅～バス停： <u>5 分</u>	・自宅～バス停： <u>5 分</u>
バス	・田貫公民館前～下中： 8 分	・田貫公民館前～京北合同庁舎前： 17 分
徒歩	・バス停～京北第三小（約 1km）： <u>15 分</u>	



※バスの乗車時間は、ふるさとバスの時刻表から算出しています。

通学バスの運行方法について（留意点等）

1 検討にあたっての留意事項

- (1) 現在のスクールバス及び路線バス（ふるさとバス）は、ともに「公益財団法人きょうと京北ふるさと公社」が運行している。同公社は、地域事情や道路事情に精通しているが、運転手の確保が切実かつ喫緊の課題となっている（大型免許が必要）。
- (2) 子どもたちの安全な通学手段を確保することを大前提とした上で、京北地域全体の将来を見据えた公共交通の在り方という視点も考慮に入れる必要がある。

2 バスの運行方法の比較

バス種別	現在の運行・利用	利 点	課題となる点
スクールバス 	○第一小学校・第二小学校区で運行 ○校外活動等の臨時便運行 乗車定員 14～28名	○児童専用のバスで、教育活動のみに利用 ○遠足等の校外活動や、気象警報発令時の下校時の利用について、比較的融通がきく	○路線バスと併走している場合は非効率 ○児童がいる地域のみ運行 ○授業日のみの運行
路線バス （ふるさとバス） 	○主に周山中学校生徒が利用 ○一般利用は少ない（1日1路線数人） 乗車定員 45～76名	○住民の足としての利用が地域の活性化につながる ○土日・学休期間にも運行（便数は減少） ○定期券利用で登下校以外にも利用可	○学校のカリキュラムに伴う運行時間や気象警報発令時の下校についての対応策の検討が必要

第2回 通学安全検討部会の主な意見

京北第一小グループ

1	宇津線は、現在朝便のみスクールバスと路線バスの一本化の社会実験中。大型車両バスであり、児童全員座ることができており、特に問題ない。
2	余野線・長野線は、ともにスクールバスと一般との混乗だが、一般客はほとんど乗車していないので、このまま混乗でもよい。
3	城山は、冬場は積雪・凍結等により、徒歩通学は危険。八千代橋からバス乗車も考えられる。

京北第二小グループ

4	スクールバスか、路線バスになるのかを決めて頂きたい。路線バスであれば、定期券でいつでも乗車できるが、スクールバスであれば、土日に部活動等で利用できないという課題があるのでは。
5	統合により、新たにバス通学する子どもへ配慮してほしい。
6	通学面でも統合して良かったと思えるように。
7	できるだけバスの乗車時間を短くしてほしい。
8	黒田の子どもは、統合すれば現状より乗車時間が6分延びる。
9	殿橋付近は歩道がないので、統合を機に歩道の整備や橋の新設などを検討してほしい。
10	下地区から側道沿いに歩いて通学することも考えられるが、外灯等が必要。
11	中江地区の子どもは、あまり徒歩について気にしていない。
12	小塩線の路線バスを小型にして、中江地区に入ってほしい。お年寄りも乗車でき便利になる。
13	自転車通学の対象範囲を拡大してほしいという声もある。自転車通学の対象学年も検討してみてもよい。

京北第三小・周山中グループ

14	京北第三小校区の小学生は全員バス通学が良い。バスは2台必要ではないか。同校区の中学生も自転車通学を認めてもよいのでは。
15	小学校1年生については、最初の半年ぐらいは支援が必要であり地域の見守りも大事。
16	歩くということも大事。現在通学で歩いているので、体力がついてきている。
17	スクールバスありきで考えるのは良くない。公共交通を確保し、地域住民とともに子どもも利用する方がよい。路線バスをもっと利用しやすいようにする必要がある。
18	路線バスも現状ありきではなく、効率化することも大事。子どもの通学のことだけでなく、公共交通の在り方としても考える必要がある。

第3回 通学安全検討部会の主な意見とまとめ

<主な意見>

京北第一小グループ

通学方法は現状どおりで良い。
新たにバスに乗りたいという声もあると思うが、乗車するかどうかは地区単位で考えをまとめる必要があるのではないか。
スクールバス・路線バス双方の利点・課題はあるが、子どもたちが安全に通えることを大前提に、予算的なことも踏まえ効率的に運行していくことが必要。
地域の交通機関の維持・向上という視点も必要。
今年度から宇津線の登校便は路線バス化（スクールバスと路線バスが一本化）しているが、支障はない。中学生とも一緒になり、車内で良い環境ができています。

京北第二小グループ

地区ごとに集団登校で最も近いバス停まで歩き、バスで通学するというのが、子どもたちの安全を考えれば一番良い。
子どもの通学手段と地域の移動手段を同じ次元で考えるのはどうかと思う。スクールバスの方が、いろんなことに対応しやすい。
路線バスによる通学であれば、学休時や部活等でも定期券で乗車できるのでありがたい。
スクールバスと路線バスにはそれぞれ利点や課題があり、現時点では、運行方法に関する意見はまとまっていない。
通学に必要なバスを確保するという前提のもと、学校のカリキュラムや教育活動にに応じていかに効率的な運用を図るかが大事。

京北第三小・周山中グループ

第三小校区の児童生徒は全員バス通学とする。
地域の将来の公共交通の在り方を考え、ふるさとバスで通学することで良い。
弓削線・田貫線の2路線を活用することとし、どちらの路線バスに乗車するかは、乗車人数を勘案し、今後検討していく。
井崎・塩田付近の中学生は自転車通学を望んでいるかもしれない。

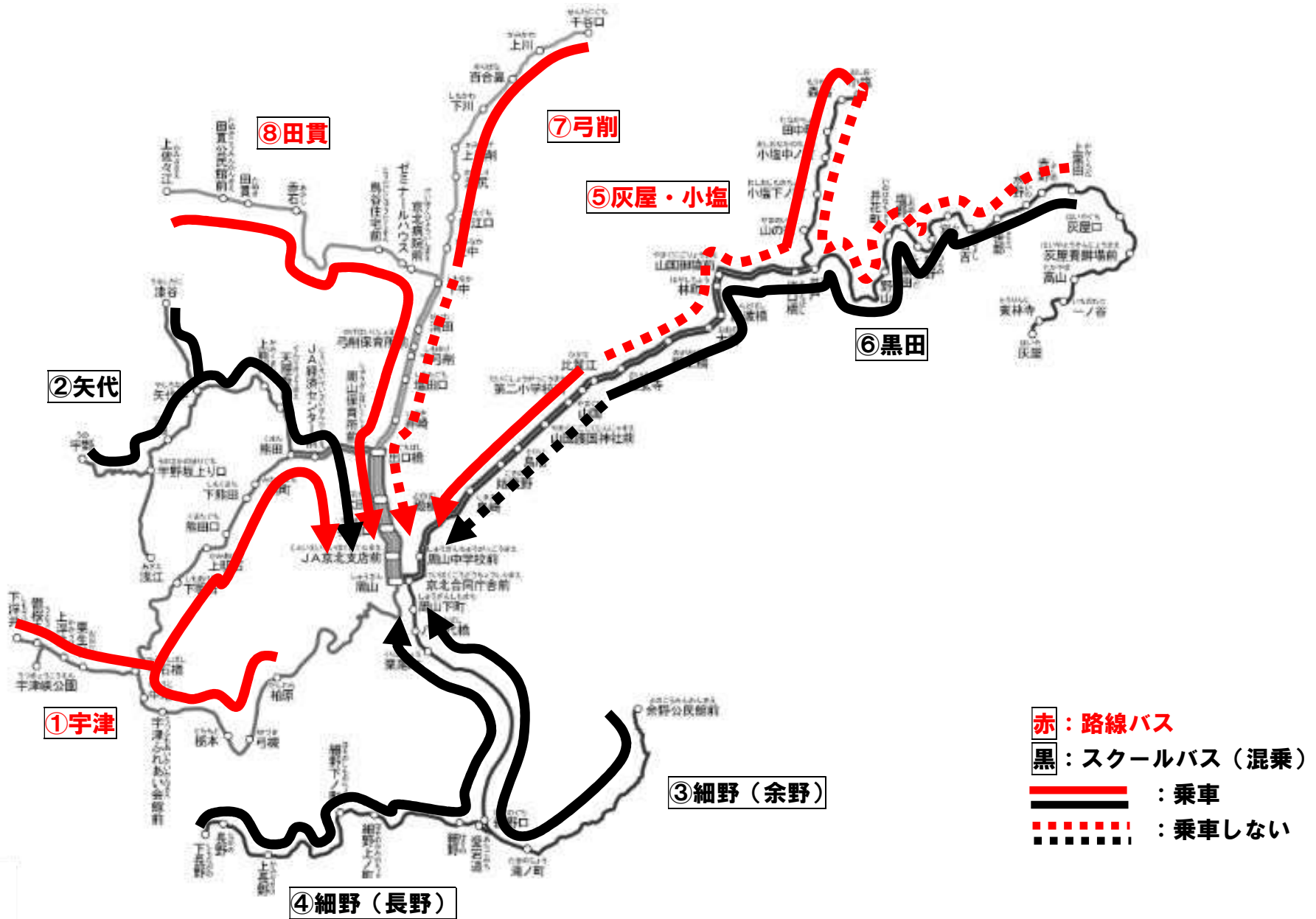
<まとめ>

- 京北第一小は、現行の乗車範囲に加えて、新たな乗車範囲についても検討する。
- 京北第二小は、集団登校で最寄りのバス停まで歩き、バスで通学することが、子どもたちの安全を考えれば一番良い。
- 京北第三小は、全員バス通学とする。
- 周山中は、概ね現行の乗車範囲を基本とする。
- スクールバスと路線バスには、それぞれ利点と課題があり、子どもたちの安全な通学手段の確保を第一に考えながら、利便性や地域全体の公共交通体系という視点で検討していくことが必要。

通学バスの運行方法について（案）

		1 現行便をそのまま利用する案	2 路線バスとスクールバスを利用する案 （1の一部変更案）	3 全員が路線バスを利用する案
バスの運行・乗車方法	第一小	○現状どおり	○宇津線：下校時も路線バスに変更 ○矢代線・宇野線：スクールバス（混乗）に一本化 ○細野線：現状どおり	○全線を路線バスに変更
	第二小	○灰屋線：路線バス （スクールバスの定員を超える児童が乗車） ○上黒田発：スクールバス （定員まで乗車）	○灰屋線：路線バス （小塩地区及び比賀江以降が乗車） ○上黒田発：スクールバス（混乗） （黒田地区から最玄寺までが乗車，比賀江以降は通過） ※小塩地区は回らない	○灰屋線：路線バス ○小塩線：路線バスを復活 （登校時は2路線に乗車）
	第三小	○弓削線：路線バス ○田貫線：路線バス （2路線に分かれて乗車）	○弓削線：路線バス（上中以北が乗車） ○田貫線：路線バス（田貫地区と下中以南が乗車）	○弓削線：路線バス ○田貫線：路線バス （2路線に分かれて乗車）
	周山中	○現状どおり	○黒田地区から最玄寺までがスクールバス（混乗）に乗車 ○その他は現状どおり	○現状どおり
効果と影響	乗車時間	○乗車時間の短縮が難しい	○黒田地区の乗車時間が短縮される	○乗車時間の短縮が難しい
	学校の登下校管理	○概ね現状どおり （案2ほど複雑ではない）	○登下校時で，運行経路や乗車バスが異なる可能性あり	○路線バスのみとなり，効率的
	緊急時・校外活動対応	○バスの規模の範囲内で可能	○バスの規模の範囲内で可能	○ダイヤの柔軟性が求められる 校外活動の対応は別途検討が必要
	路線バス	○現状どおり（影響なし）	○一部路線に変更あり	○便数が増加し，活性化が期待される
	運転手	○現状どおり（増減なし）	○第一小校区の運行変更に伴い，より安定した運営が可能	○路線バスの運転手が多数必要

路線バスとスクールバスの一部変更案による通学バス運行図



路線バスとスクールバスの一部変更案による乗車見込人数

現校区	路線	運行形態	乗車対象地区	乗車定員		乗車見込人数	
				定員	座席数	総数	中学生
第一小	① 宇津	路線	宇津地区及び熊田地区の小中学生	45	45	38	17
	② 矢代	混乗	矢代地区及び宇野地区の小中学生	14	14	12	2
	③ 細野(余野)	混乗	余野地区の小中学生	28	28	6	4
	④ 細野(長野)	混乗	長野地区の小中学生	28	28	6	3
第二小	⑤ 灰屋・小塩	路線	小塩地区及び比賀江～下地区の小中学生 (自転車通学の中学生を除く)	59	29	55	15
	⑥ 黒田	混乗	黒田地区～最玄寺の小中学生 (小塩地区は回らず、比賀江以降は通過)	25	25	18	6
第三小	⑦ 弓削	路線	上中以北の小中学生	60	29	32	16
	⑧ 田貫	路線	田貫地区及び下中以南の小中学生	76	32	43	20

※運行形態：路線…路線バス 混乗…スクールバス（混乗）

※⑤の下地区以外の小学生は着座可能